



イベント目白押しのお秋、らいさぽの活動をご報告します

10月に各所でおこなわれたイベントに参加した会員からのレポートをご紹介します。

～10月7日 第31回しながわ夢さん橋2018～
大崎駅南口・東西自由通路(夢さん橋)デッキを
メイン会場に毎年おこなわれているイベント。例年
らいさぽも参加しています。

○稲葉寛史会員

体育の日の祝日を含んだ三連休の中日。JR大崎駅前、子供連れのご家族や学生達、カップルやシニアと、多世代の方々がイベントを楽しんでおられました。



例年同様、チラシやティッシュの配布を行い、ライフサポート東京とブックカフェ来茶舗&オレンジカフェらいさぽ事業の周知活動に努

め、相続や後見について話を聞きたいという方への相談業務をさせていただきました。

今年は10組ほどの相談を承りました。その中でも、「現在相続手続き中だが、相続税がどの程度必要になるか」、「被相続人の配偶者(80代)が相続財産を受け取った場合、健康保険料等はどのように変わってくるか？」など、具体的な金額を知りたいというのが、多くの方のニーズであったように感じました。今後は、そのような具体的な税務のご相談にも対応できるように知識の習得に励み、ご相談者のお力になれるように研鑽を積んで参りたいと思います。

休憩時間中には、後見業務のことでいろいろ質問したり、後見業務ならではの面白い話を聞かせていただいたり等、大変貴重な時間を過ごさせていただきました。

当日は大変良い天気となり、相談を受けているスタッフの後方からジリジリと日差しが照りつけ、熱中症回避が一番の

課題となりました。そのため、他のスタッフが日陰を作るためのグッズを買いに百貨ショップまで奔走したり、行政書士会品川支部から横断幕をお借りしたりと現地調達。手作り感満載の相談会でありましたが、それもまた、ライフサポート東京の温かい雰囲気が漂い、とても和やかな時間を共有することができました。

○島村かほる会員

イベント当日の10月7日は、台風の影響のために中止か？という心配もありましたが、太陽が昇ってみたら気温30度超えの猛暑。絶好の“ゆめさんばし日和”となりました。

午前10時にスタートしてすぐ相談者が数名続き、配布するためのポケットティッシュとチラシを用意しながらの嬉しい慌ただしさでした。

近くの料理店ブースに寄ったついでにチラシを受け取ってくださった方もいらっしゃいました。(相談のためにらいさぽブースめがけていらっしゃった訳ではないものの)「いつも主人と遺言について話しているから、相談したいと思っているのよ」と話してくださいました。そのような声を聞くにつけ、“身近な街の法律家”の存在意義を再認識することができました。このようなイベントで様々な問題(事例)をうかがうことで、自分の(法律)知識の弱点を知ることができるという発見もあり、有意義な「マイファースト ゆめさんばし」になりました。



(次頁へ続く)

(前頁から続く)

～10月27日 スポーツフェスタOZ(オズ)～
東京2020オリンピック・パラリンピック開
催の2年前を記念して、しながわ中央公園にて
開催されました。



イベントの様子(濱野品川区長や、
品川区オリジナルの応援マスコットも登場)

○藤後淳一会員

10月27日、品川区役所前のしながわ中央公園において「みんなであそぼ!!スポーツフェスタOZ」が開催されました。私は、この会場において行われたライフサポート東京とライフコンシェルジュの合同無料相談会及び活動内容のPRに参加いたしました。

このイベントは東京オリンピック2020大会の区内開催競技(ホッケー、ビーチバレーボール)および区応援競技(ブラインドサッカー)の認知度向上と、東京2020大会に向けたさらなる機運の醸成を図ることを目的とするもので、元サッカー日本代表のラモス瑠偉さんをはじめとするスポーツ著名人のトークショーや、競技体験が行われました。

当日は天候に恵まれ汗ばむほどの陽気でした。そのおかげで、開始当初は少なかった来場者も、昼が近づく頃にはかなりの数になりました。成年後見制度、相続、遺言、年金、税金についての相談者の数も徐々に増え、結局この日の相談者数は10組ほどに及びました。

相談ブースを離れた会場内では、ライフサポート東京の普及事業部員と広報部員がPR用のチラシ、ティッシュの配布を行い、予定していた部数を配り切ることができました。遺言・相続・成年後見等に対する関心の高さがうかがえました。(チラシにあめ玉を付けたことも少し関係しているかもしれませんが。)

イベント自体がスポーツ色の強いものであったため、当初は、無料相談会及びPR活動に関心を持つ来場者は少ないのではないかとおりましたが、相談会もPRもよく健闘し、充実したものにすることができましたと思います。これも先輩の皆様これまでの活動のおかげなのだと思っています。

今後もライフサポート東京の存在と活動を多くの人に知っていただくこと、またライフサポート東京のおこなう社会貢献活動がさらに大きくなっていくことに携わりたいと思っています。

～10月17日 のんきの日スペシャルデー～
ブックカフェ来茶舗のご近所さん、品川区
豊町の認知症カフェ「のんきの日」のスペシ
ャルデーイベントが開催されました。

○佐々木加奈子会員

品川区豊町4丁目の杜松地域密着型多機能ホームで定期開催されている認知症カフェ「のんきの日」。10月17日に開催された年に1度のスペシャルデーへ、オレンジカフェの稲葉会員、広報部の島村会員、ブックカフェの立山会員・佐々木の4名で参加しました。

民生委員さんによるフラダンスでイベントがスタート。ブース出店事業所の自己紹介では、近隣薬局や診療所等と並んで、ライフサポート東京は「認知症カフェとして、

毎月内容を変え開催しているオレンジカフェ」「介護関係の書籍などを揃えている他、レンタルスペースとしてご利用いただけるブックカフェ」であると紹介しました。

ブース出店では、オレンジカフェのご案内、ブックカフェからホット・アイスのコーヒー販売をおこないました。参加者に用意された景品付きスタンプラリー効果のためか、予想よりも多くのお客さまで賑わい、オレンジカフェに参加された方や、豊町四丁目町会イベントでお目にかかった方々とお話ししたりすることも出来ました。ブックカフェの地域への種まきで、ほんの少しだけ小さな芽が出て来たように感じました。

気付けば準備したコーヒーも完売となり、忙しくも楽しいひとときを過ごしたイベント参加となりました。



会員向けのハンドブックができました

根本 妃佐子 会員

平成17年にライフサポート東京が成立し、今年で14年目になります。日本も超高齢社会になり、成年後見制度の利用者が断続的に伸び続ける中、当法人はこれまで300件以上の案件を受任してきました。法人後見のメリットである後見活動の継続性、経験から得たノウハウ・情報の蓄積・共有、監査機能による後見事務の信頼性の向上、研修制度・サポート体制の充実等、より質の高い適切な後見事務を行うため日々努めています。

受任案件の増加に対応すべく、同じ志を持った会員は現在100名に達しようとしています。しかし、入会後間もない会員が増え、個々の会員に対するきめ細やかなサポート体制を維持するには、経験豊富な会員への負荷が大きくなってきました。全会員が一定水準の質の高い後見事務を「よりの確に」かつ「迅速に」行うために、法人としてのルールの明確化・共有化が強く求められるようになりました。こうして、構想から約1年後の平成30年9月に『らいさぼハンドブック』（第一版）がリリースされました。

『らいさぼハンドブック』は、法人としてのルールをわかり易く説明しているだけではありません。法人の基本方針、法人与会員との関わり、会員の心構えを明文化することで、新入会員には、初めてでもルールに則り適切に後見事務を行えるように、そしてすでに後見事務を行っている会員には、現在行っている後見事務を再確認するとともに当法人の意義をあらためて意識してもらえそうな内容になっています。

今後『らいさぼハンドブック』を活用することで、会員は誇りを持って質の高い後見事務を遂行できるようになること、ご本人・親族及び関係者の皆様には安心して当法人に後見業務を任せていただけるようになることを期待しています。



総会報告と新任理事のごあいさつ

通常総会のご報告

平成30年6月1日（金）、特定非営利活動法人ライフサポート東京・第14回通常総会が、昨年に引き続き品川区立総合区民会館「きゅりあん」にて開催されました。（会員91名のうち出席者46名。）



らいさぼは今、永続的に法人後見業務を担うべく、法人の体制基盤をより盤石なものにしていこうとしています。今年の総会では、BCP・担当者向けハンドブック作成・会員相互の情報交換会など様々な内部固めのための施策が報告され、組織として次のステップに進む時期が来てい

ることを感じさせる内容となりました。

総会に続き同会場にて、本年4月に着任された品川区社会福祉協議会・品川成年後見センターの土屋衛（まもる）新所長を交え、懇親会が開催されました。新入会員の紹介、恒例になりつつある合唱部タイムなど、例年どおり賑やかな会でした。

理事就任のごあいさつ

神野由美子

このたびライフサポート東京の理事及び広報部長に就任いたしました。

入会以降、主に広報部員と財産管理協力員の作業にかかわり、これらの作業を通じて「後見業務」を学び、同時に「らいさぼの法人後見」に接してきました。

広報は、コミュニケーション活動だと思っています。法人外部の方々や法人会員の方々、そういった法人にかかわる全ての方々とらいさぼの間によりよいコミュニケーションが保たれるよう、微力ながら少しでもお役に立てればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

事務局移転のお知らせ

平成30年11月12日、ライフサポート東京の事務局が移転しました。

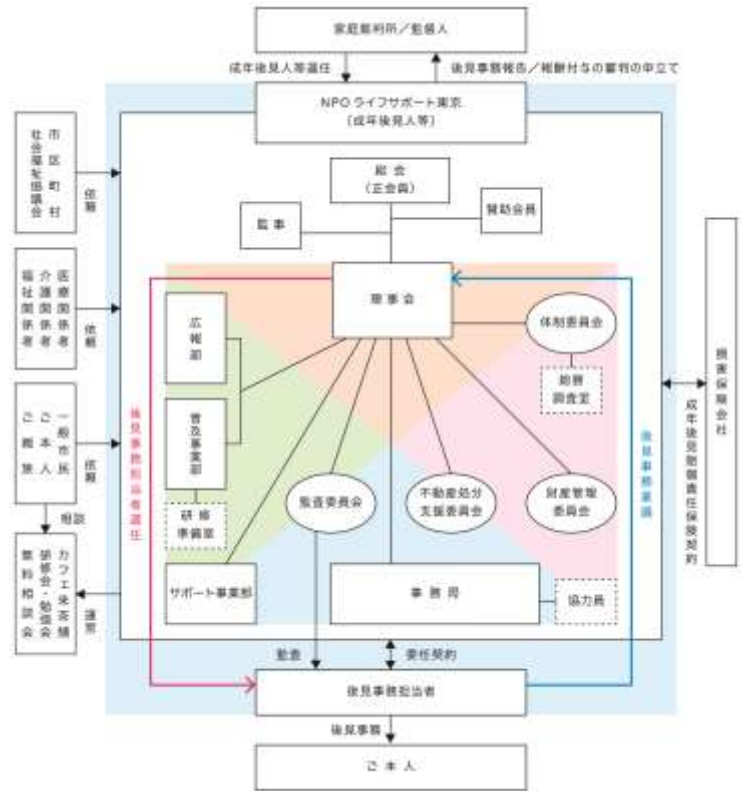
新事務局は、旧事務局(503号)のお隣り、502号です。事務局面積は、これまでの約1.5倍に広くなりました。事務局の作業や会議に使用するエリアと、来客対応エリアを分離することができ、落ち着いてお客様のご相談に対応することができます。

また、代表電話番号も変わりました。ビジネスホンの導入で、1回線が通話中でも新たな着信を受けることができるようになり、お問い合わせの皆様をお待たせしません。

組織改革や事務局体制の強化により、法人後見の更なる発展を目指します。関係者各位にはお手数をおかけしますが、連絡先の変更をいただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新事務局 品川区大崎1-20-8 INOビル大崎502
新電話番号 03-6420-3311

【法人組織図（平成30年11月現在）】



ライフサポート東京の活動について

【会員数】

H30. 10. 31現在 正会員96名 賛助会員1名 総会員97名

【受任実績】

H30. 10. 31現在 受任総数327件（うち終了133件）

(内訳)

成年後見 195件（うち終了84件）
 保佐 60件（うち終了17件）
 補助 19件（うち終了10件）
 任意後見 53件（うち発効2件、終了22件）

【活動報告・予定】（H30. 6. 1以降）

●研修

- ・H30年度初級業務研修を開催（7月～12月）
- ・H30. 6. 26(火) スキルアップ研修「財産管理の実務」
- ・H30. 8. 29(水) 更新研修「らいさぼハンドブック」
- ・H30. 9. 28(金) スキルアップ研修「高齢者の行政サービス」

●講師派遣

- ・H30. 8. 29(水) 品川区社会福祉協議会 成年後見センター主催「エンディングノート説明会」
- ・H30. 11. 27(水) 品川区杜松在宅介護支援センター主催 地域ケア会議にて「委任契約の事例検討」

●渉外活動・イベント参加

- ・H30. 6. 19(火) 品川区豊町四丁目町会 高齢者見守りネットワークのイベントへ参加

- ・H30. 7. 15(日) NPO市民後見人の会 10周年記念シンポジウムに参加
- ・H30. 9. 10(月) 品川区豊町四丁目町会 高齢者見守りネットワークのイベントへ参加
- ・H30. 10. 7(日) 「しながわ夢さん橋2018」で相談会を開催
- ・H30. 10. 17(水) 杜松在宅支援センター主催 「のんきの日スペシャルデー」に参加
- ・H30. 10. 27(土) 「スポーツフェスタOZ」に協働参加
- ・H31. 2. 23(日) 「地域でつながるみんなの暮らし展 2019」で相談会を開催
- ブックカフェ来茶舗事業
 - ・H30. 6. 24、7. 29、11. 28 地域交流イベントを開催(映画上映会や紙芝居など)
 - ・H. 30. 6. 27、7. 25、8. 22、9. 28、10. 24、11. 14 オレンジカフェらいさぼ認知症支援イベントを開催

平成30年11月30日発行

発行人 平松 太郎

発行所 特定非営利活動法人ライフサポート東京
 〒140-0001

東京都品川区北品川2丁目8番3号

TEL 03-6420-3311 FAX 03-6807-2580

URL <https://life-spt.tokyo/>

編集人 ライフサポート東京広報部